

# 市民と議会を結ぶ

宇都宮市議会 自由民主党議員会

Vol.17

# 夢・うつのみや

発行日：2013年1月15日  
 発行：宇都宮市議会 自由民主党議員会  
 住所：〒320-8540 栃木県宇都宮市旭1丁目1-5  
 電話：028-632-2618  
 F A X：028-632-7140

## 予算化要望意見交換会を開催

平成25年度予算に向け 市執行部と自由民主党議員会

活力ある社会づくり

地域の特性を活かした社会づくり

健康で安全な社会づくり



平成25年度の宇都宮市の予算編成にあたり、自由民主党議員会は、11月30日に議員協議会室で、市執行部との意見交換会（座長・熊本幹事長）を開催しました。予算化要望に関連して意見交換を行うのは初めての試みです。

12月議会前のこの時期に意見交換会を開催した理由は、市では予算編成作業の途中ではあるものの、わが会派の要望を来年度予算に反映させるとともに、政策の今後のあり方などについて率直に意見を交わすことで本市の将来像について方向性を共有し、政策の実現をより確実なものにしていくというものであります。

まずはじめに、重要なテーマについて、所管部長の概要説明の後、意見交換を実施しました。一つ目の「中小企業の経営、技術革新の促進」では、金融円滑化法への対応などについて、二つ目の「健康づくりの推進」では、健康寿命の延伸を今後どのように進めていくかなどについて、三つ目の「地域特性を活かした魅力ある拠点の形成」では、JR宇都宮駅周辺の整備などについて、活発に意見を交わしました。

さらに、重点要望事項の中から、「公共ネットワークの充実」と「まちづくり活動拠点の充実」について、重点的に意見交換を行いました。

参加した会派所属議員からも積極的に意見が出され、非常に有意義な意見交換となりました。

今回の意見交換の形式は、わが会派としても初めて実施したものであり、議会の政策実現の試金石になればと考えています。試行錯誤をしながらも、様々な活動に取り組むことで、さらにそれらの活動を発信することで、信頼される議会の実現を目指していきたいと思えます。

今後とも、宇都宮市が「元気で活力のあるまち」になるよう、会派所属議員全員で一丸となって取り組んでいきます。

## 市民の声を市政に！！

宇都宮市議会自由民主党議員会では、より多くの市民の皆様の声を市政に反映させるために、積極的に取り組んでいます。この「夢・うつのみや」に掲載いたしました記事へのご意見・ご感想をはじめ、皆様方の声をぜひお聞かせ下さい。市民に開かれた市議会を目指し、引き続き頑張って参ります。

ご意見・ご要望等は下記へ

電話：028-632-2618

FAX：028-632-7140

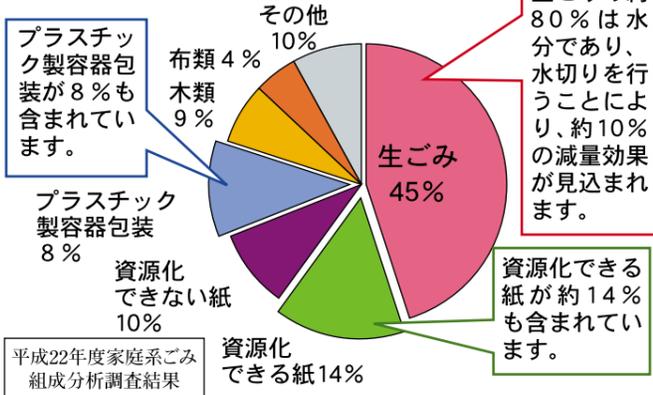
Twitterとブログを始めました。今までの広報紙も見られます。宇都宮市の動画も見られます。

宇都宮市議会  
自由民主党議員会

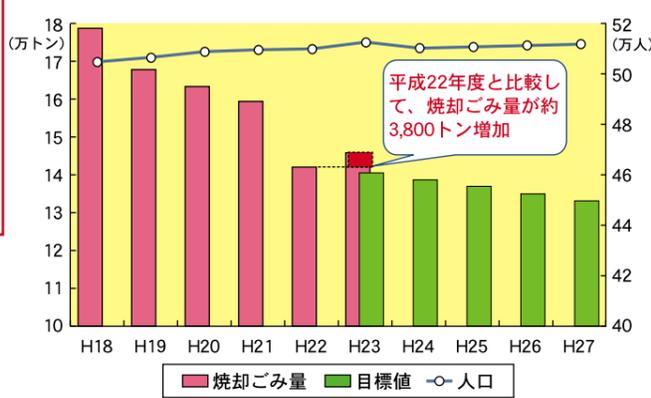
<http://www.utsunomiya-jimin.jp/>

# 循環型社会の形成に向け ごみの減量化・資源化を推進

(図2) 市の焼却ごみの中身(平成22年度)



(図1) 市の焼却ごみ量の推移と減量目標

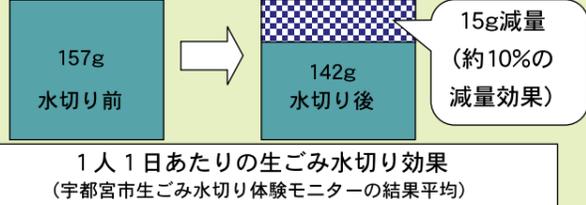


宇都宮市の焼却ごみ量は、プラスチック製容器包装の分別収集が開始された平成22年

宇都宮市では、循環型社会の形成を目指し、平成23年9月に策定した「宇都宮市一般廃棄物処理基本計画」に基づき、平成27年度までに「市民一人1日当たり約50g、卵1個分のごみの減量」を目標に、現在、様々な3R施策を進めています。自由民主党議員会でも、ごみの減量化は重要な課題と考えております。市民の皆様のご協力と併せて、ご意見・ご要望等をお寄せくださいますようお願いいたします。

## 生ごみの水切りを推進

生ごみの約80%は水分といわれていることから、生ごみを減量させる3つのポイントである『水にぬらさないようにする』『乾燥させる』『水切りをする』を心掛けることで、生ごみの減量につながります。是非、生ごみを出す前の一工夫にご協力をお願いいたします。



平成23年度の宇都宮市のごみ処理費用は、市民一人当たり年間約1万1500円もかかっており、平成24年度の焼却ごみ量は、昨年度からほぼ横ばいで推移していることから、このまま焼却ごみが増加すると、ごみ処理に係る施設の建設を早めなければならぬなど、更なる費用負担が生じることとなります。

平成23年度は、22年度と比較して3,800トン増加しました。(図1)

度は、前年度と比較して17,400トン減少しましたが、平成23年度は、22年度と比較して3,800トン増加しました。

また、子どもから大人まで幅広く、循環型社会の構築や



分別講習会の様子

そのため、宇都宮市では、図2のように未だ焼却ごみに多く含まれているプラスチック製容器包装や紙類の更なる分別徹底を図るため、各地域のリサイクル推進員と連携し、「分別講習会」や「分別・排出ルールが守られていないごみステーションに対する巡回パトロール・個別指導」を重点的に実施しています。



巡回パトロールの様子

ごみの減量化・資源化は、喫緊の課題であり、わたしたち市民一人ひとりが、日々の生活の中で、意識を高め、身近にできることから実践することが極めて重要となります。

なお、生ごみの堆肥化については、コンポストや電動式生ごみ処理機の購入に対する助成制度も設けておりますので、この機会に是非、取り組んでください。



イベントでの啓発事業

さらに、「生ごみ水切りの励行」や「生ごみの堆肥化」について、市のホームページや広報紙、各種イベント、講習会など多様な機会や場を捉えて、普及促進に努めています。



環境出前講座の様子

3Rの重要性について理解を深めてもらい、環境に配慮した行動を実践できるよう、小学校4年生の社会科補助教材「わたしたちのくらしとごみ」の作成や環境出前講座を実施しています。

## 家庭での生ごみの堆肥化を支援

生ごみ処理機には、電動式生ごみ処理機とコンポスト容器があり、コンポスト容器には下記のような地上式のほか、屋内でも設置可能な密閉式や段ボールコンポストセットなどがあります。

宇都宮市では、生ごみの減量化・資源化を図るため、これらの生ごみ処理機の購入費の一部を補助しています。

補助金額 購入価格の2分の1。

- ・コンポスト容器：1基につき上限 5,000円（1世帯につき3基まで）。
- ・電動式生ごみ処理機：1台につき上限 30,000円（1世帯につき1台まで）。

申請方法 生ごみ処理機を購入後、ごみ減量課・地域自治センター・地区市民センター・出張所に置いてある申請書（市ホームページからも取り出し可）に、領収証などを添付して、直接または送付で〒320-8540市役所ごみ減量課、または直接地域自治センター・地区市民センター・出張所

### 電動式生ごみ処理機



### コンポスト容器（一例）



地上式



埋め込み式



密閉式



段ボールコンポストセット

十二月定例会一般質問(抜粋) 担い手を育成・確保し、継続する農業を



小林紀夫議員

「都市農業は産業の柱」について、今後どのようにして担い手を育成・確保し、継続する農業を進めていくのか。

佐藤市長 農業所得の向上とともに、経営資源や就農者の情報一元化、継承に係る各種手続や継承後の継続的な支援など、円滑な経営の継承に向けた仕組みを構築していく。

健康寿命を伸ばすことはみんなの願い。高齢者が容易に社会参加できるような社会づくりも必要。健康寿命の延伸について具体的などのような取り組みを考えていくのか。

公共交通の網羅について 人間力の向上について 収入の向上について 街がおもしろいについて 地域主体のまちづくりについて

十二月定例会一般質問(抜粋) 中小企業支援を中心とした経済対策、雇用対策を



馬上剛議員

中小企業支援を中心とした本市の経済対策、雇用対策についての考えは。

佐藤市長 本市独自の制度融資メニューの創設など積極的な支援に取り組んでいく。雇用対策では「就職困難者雇用奨励金」の充実などを通じて、雇用と就労の支援に努めていく。

中心市街地における公共交通ネットワーク拡充の社会実験に当たり、運行ルートの

確保や安全対策は。また、商店街との連携の考えは。

都心部のバリアフリー化について 都市緑化の推進について 地域の実情にあったまちづくりについて

政務調査

自由民主党議員会では、全国市議会議長会研究フォーラムの参加に合わせて、昨年10月10日から12日の3日間、尾道市、松山市、倉敷市を訪れ、各地域の先進的な取り組みなどを視察しました。

松山市(愛媛県)

全国市議会議長会研究フォーラム



片山善博前総務大臣の基調講演

研究フォーラムでは、片山善博前総務大臣の基調講演に続いて、地方議会における政策形成の在り方について有識者によるパネルディスカッションが行われました。

「地域活性化や住民要望に応えるために何をすべきか」、議員(政治)の質の向上など考えさせられる内容でした。

尾道市(広島県)

歴史的風致維持向上と空き家対策 尾道市では、歴史的風致維持向上計画と空き家対策について説明を受けました。宇都宮市でも空き家対策は



歴史的風致維持向上計画などについて担当課の説明を聞く

早急に取り組みべき課題であり、今後も他都市の例も検証しながら実施に向け検討をすべきと考えております。

倉敷市(岡山県)

おもてなしマイスター制度 倉敷市は平成22年に「おもてなしマイスター制度」を策定、美観地区の道路舗装に関



おもてなしマイスター制度について担当課の説明を聞く

しても地域住民の意見を取り入れた整備が進んでいます。マイスター制度については一度始まってしまえば市民の力で動き出すので、年間50万円程度しかかかっていないこと。宇都宮市でも前向きに取り組みべき施策であると考えます。

市民の声

市民の方から本紙をはじめとする当会の活動等に関する数多くのご意見・ご要望等が寄せられています。下記にその一部をご紹介します。

- 自治基本条例の件ですが市民が市政に参加する権利が認められているというのは良い事なのですが外国人も市民になってしまうのではないかと思います。しかし、反日感情を持った外国人も沢山いるので条例の見直しが必要になるのではないかと思います。宇都宮市はもちろんのことですが全国の自民党支部にも呼びかけてほしい。 35歳女性
- 先日、西川田の新スポーツゾーンに関する構想が発表されましたが厳しい財政状況や栃木SCの観客動員数などを総合的に判

- 断した結果の兼用とのことですが新スタジアムは陸上競技場ですのでサッカー場としては魅力がありません、県グリーンスタジアムを改修して使用した方が建設費用も比較的lowで済むと思いますのでその方がよいと思います。 30歳男性
- 福島県から栃木県に避難しているのですが国の原発対策があまりにも遅く感じられます。自民党に頑張ってもらって早く福島県を助けてほしい！市議会の方からも国に対して早く原発対策をするように要望を出してほしい。 54歳男性
- 平出工業団地の処分場建設の件ですが確かに少し不安はありますがきちんと検査をして安全なものを建設してください。 70歳女性

今後とも、多くのご意見・ご要望をお寄せください。

市議会

12月定例会の結果報告

宇都宮市議会は12月定例会で、一般会計補正予算案など執行部提出の議案31件、委員会案1件、議員案2件を原案通り可決しました。

12月7日の本会議で、3期目当選を果たした佐藤栄一市長が市政運営に対する所信を表明。

この中で、佐藤市長は、東日本大震災・福島第一原発事故による被災者の避難生活の長期化、急速な円高の進行などから「先行きの不透明感や不安がますます広がりを見せている」とし、「明るく確かな未来を切り拓くことができるよう、今講ずべき真に必要な施策を見極め、限りある行政経営資源の有効活用を図りながら、市民生活の安定化や地域経済の発展に向け取り組んでいく」と所信を表明しました。

12月定例会で可決した議案は次の通りです。

専決処分した事件の承認について = 12月 7日に承認

宇都宮市固定資産評価審査委員会委員の選任について

平成24年度宇都宮市一般会計補正予算(第4号)

奈坪川トンネル整備工事における債務負担行為の限度額変更

= 以上、12月 7日に可決

平成24年度宇都宮市一般会計補正予算(第5号)

歳入歳出それぞれ8億7,348万5千円を追加計上し、予算総額を1,842億4,870万6千円に補正しようとするもの

内容は、震災特例法による個人市民税の税額更正に伴う過誤納還付金の追加、生活保護受給者の増加に伴う生活保護費の追加、障がい者の施設利用数の増加に伴う農林公園管理費及び地域交流館管理費を追加など

ほか26議案 = 以上、閉会日の12月27日に可決

【委員会案】

宇都宮市議会会議規則の一部改正

【議員案】

宇都宮市議政務調査費の交付等に関する条例等の一部改正

人権擁護委員候補者の推薦の諮問に対する答申について

= 以上、閉会日の12月27日に可決

陳情

12月定例会で、以下の陳情を採決しました。

宇都宮市悠久の丘斎場の管理運営を見直してほしい旨の陳情

ダイオキシン削減のため、火葬炉のプログラム、管理マニュアルなどの見直し等を求めるもの。

不採択(改革、共産は不採択に反対)

北西部地域活性化の実現を図るための陳情

北西部地区の地域振興策として、都市空間形成の基本方針と都市マスタープランにおける地域別構想の再構築など、ネットワーク型コンパクトシティの形成 子どもから高齢者の住民の交流と健康増進が図れるような複合型総合体育館の整備 宇都宮インター周辺の機能充実と活力ある拠点整備が行えるよう、地域性を活かした周辺の規制緩和の実施 を求めるもの。

採択(維新、みんなは採択に反対、改革、共産は退席)

<http://www.utsunomiya-jimin.jp/>



ホームページを覗いてみてください

会派の活動や市の施策に対する考え方などを中心に、詳しく掲載しております。

また、イベント情報なども掲載しておりますので、ぜひ、ホームページを覗いてみてください。



顧問  
鎌倉三郎 ⑩  
かまくら さぶろう  
大寛2丁目6-13  
TEL. 634-4705  
FAX. 639-6407



会長  
中山勝二 ⑨  
なかやま かつじ  
江曾島町1027-2  
TEL. 658-3318  
FAX. 659-1993



副会長  
篠崎光男 ⑧  
しのざき みつお  
雀宮町1-1  
TEL. 654-0770  
FAX. 653-9897



相談役  
黒後久 ⑦  
くろご ひさし  
峰4丁目3-15  
TEL. 661-6598  
FAX. 660-6687



金子和義 ④  
かねこ かずよし  
平塚町130-5  
TEL. 656-2753  
FAX. 656-2059



阿久津均 ③  
あくつ ひとし  
泉が丘4丁目8-3  
TEL. 663-8070  
FAX. 661-7701



総務会長  
渡辺道仁 ③  
わたなべ みちひと  
田野町595-47  
TEL. 652-7200  
FAX. 652-7200



幹事長  
熊本和夫 ③  
くまもと かずお  
松原2-7-39  
TEL. 623-9898  
FAX. 623-9898



会計監査  
五月女伸夫 ②  
そうとめ のぶお  
下岡本町4234  
TEL. 673-2072  
FAX. 673-8580



政調会長  
広報局長  
小林紀夫 ②  
こばやし のりお  
海道町143  
TEL. 661-5465  
FAX. 616-2021



副幹事長  
研修局長  
櫻井啓一 ②  
さくらい けいいち  
篠井町1577  
TEL. 669-2994  
FAX. 669-2546



会計  
副広報局長  
増淵一基 ①  
ますぶち かずき  
石井町2472-6  
TEL. 689-3719  
FAX. 664-4192



副政調会長  
副研修局長  
馬上剛 ①  
うまがみ こう  
馬場通り3-1-10  
TEL. 635-3681  
FAX. 635-3682

ご意見・ご感想は身近な当会議員に!

※役職は当議員会の役職、名前の後の○数字は期数です。

掲載致しました記事だけでなく、市民の皆様が日頃感じている暮らしに関すること等のご意見・ご要望・ご感想を、身近な議員にもお気軽にお寄せ下さい。